



たくさんの仲間とたくさんの笑顔をセカンドハーベスト名古屋

SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2014.12.1

NO.5

SECOND
HARVEST
NAGOYA
NPO法人 セカンドハーベスト名古屋

発行元 NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0845 愛知県名古屋市北区柳原3-4-2 小菅ビル1F

TEL:052-913-6280/FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:http://www.2h-nagoya.org/

編集／印刷 橋本写植



新事務所から新しい活動へ セカンドハーベスト名古屋

セカンドハーベスト名古屋理事長挨拶



当法人は、2009年1月に発足、この6年間でフードバンクを取り巻く環境はかなり変化しました。フードバンクはアメリカで誕生し、欧米で急速に広がった活動ですが、日本には、日本の風土に合った理念や仕組みが求められることを感じるようになり、地域に根付いた活動をしてきました。まだ道半ばですが、生活に困った人達を支える社会の仕組みとして機能できるようにしたいと願っています。

発足した年は、リーマンショックの影響で大量の失業者があふれました。特に中南米出身者は、荒野に放り出された状態でしたので提供する食べ物はすべて喜ばれました。この事件を通じて東海地方では、外国人の生活に苦しい人達への対応がいかに重要であるかを知りました。そして2011年の東日本大震災被災者への支援は、仮設住宅に入居された方の生活を支える「ごはん応援箱」運動を展開し、食べることの大切さを改めて学びました。

景気が回復したとされる現在、問題は少ないう見えますが、食べ物に困っている方は、表面に浮かんでこないだけで、確実におられます。働ける状態にある人は、職種を問わねば仕事はあります、高齢

者・障がい者・母子家庭など働きたくても働けない人が逆に目立ってきています。点々と散らばる対象となる人達を捉えていくには、社会福祉協議会など行政との協業が必須であり、永続的に活動できるように、予算措置を含めて担当部署と交渉しています。

そして、最近大きく浮かび上がってきたのが高齢者の生活にフードバンクがいかに貢献できるかという課題です。高齢者層は必ずしも生活困窮者の定義にはあてはまりませんが、生きいきと元気で暮らしていただくために、年配者を対象としたコミュニティサロンの活動を支援する等の新しい活動を展開しようとしています。

このように私たちの活動が期待されている事を如実に感じていますが、欧米のように寄附の習慣が根付いていない日本では、資金を如何に集めるかが問題です。昨年から、受益者の皆様からは「支える会」を組織して寄付をいただいて大きな柱となっています。また、この年末には、認定NPO法人格の取得を目指して会社・個人からの寄付が受けられやすくしたいと奔走しております。さらに、行政機関との協業では、適正な対価を受けられるように交渉しています。どうか、会員はじめ皆様のご支援をこれからもよろしくお願いいたします。

2014年11月 NPO法人セカンドハーベスト名古屋

理事長 本岡俊郎

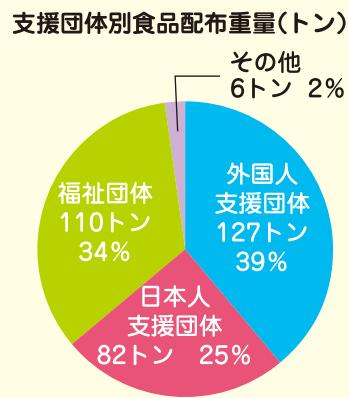
CONTENTS

理事長挨拶	1 p	ボランティア紹介	3p
2014年度第3四半期活動実績	2 p	ボランティア活動アンケート	4p

2014年度第3四半期活動実績

■取扱量

2014年度の食品取扱量は昨年と同等のペースで推移しています。昨年は量より質に方向転換する良い時期でした。「地産地消」を掲げて地元の食品企業からの提供の割合が上昇し、この9カ月で66%になりました。2012年～2013年は約50～55%でしたが、「地産地消」の目標のもと地道に活動したことが地域企業にも受け入れられてきたと実感しています。その一つに地元の工場で焼かれる日配品のパンがあります。この4月から始まった菓子パンなどの配布は児童養護施設や母子家庭など多くの子供たちの笑顔と引き換えに提供されています。



また、支援団体別食品配布も昨年は外国人支援団体が50%近くでしたが今年はバランス良く配布できています。

	食品の地元取扱量(トン)									*2HJ (トン)	合計 (トン)
	米・パン	青果物	冷蔵・惣菜	冷凍食品	常温食品	飲料	備蓄食品	小計	比率		
2013年	12.5 (1.0)	104.5 (8.7)	16.8 (1.4)	11.0 (0.9)	63.3 (5.3)	72.4 (6.0)	6.8 (0.6)	287.3 (23.9)	55%	235.8 (19.7)	523.1 (43.6)
2014年 1～9月	19.5 (2.2)	76.9 (8.5)	12.2 (1.4)	6.7 (0.7)	57.3 (6.4)	45.9 (5.1)	18.0 (2.0)	236.5 (26.3)	66%	122.6 (13.6)	359.1 (39.9)

*セカンドハーベストジャパンより

()=月平均値

■新たに2つの活動を始めました

1、個人支援の強化、食のセフティーネットの構築

今まで緊急食料支援として、食料が尽きた生活困窮者にお米・調味料・缶詰等で作る「食品パック」を送付したり、直接引取りに来てもらったりしていました。新たに、緊急食料支援を市・区社会福祉協議会(略名、社協)と協働で行っています。各社協から要請を受け、セカンドハーベスト名古屋(以下「2HN」)は支援対象者にマッチした食品を選び12キロ程の「食品パック」を送付します。まだまだ試運転の段階ですが、「もったいない」食品が「貴重な」食品となって支援対象者に届きます。「初回お給料が入るまでの食料援助」など自立支援に役立っています。9月末で述べ240件の個人支援を行いました。着実に件数が増えています。



「食品パック」例

2、食でつなげる高齢者コミュニティー支援事業(通称「食コミ」)

超高齢化社会と言われる昨今、孤立しがちな高齢者を地域で支えようと多くの有志がサロンの開催に奮闘しています。名古屋市だけでも民間のサロンは700以上あり、地元高齢者の交流の場や居場所となっています。2HNはこれら各種サロン活動の活性化を目的にお茶やお菓子などの食品を提供し、地域コミュニティーの一員である高齢者にもっと外に出てもらい元気にしたいと「食コミ」を始めました。

フードバンク活動とは？

食べられるにも関わらず捨てられる運命の食品を企業や個人から寄付いただき、路上生活者を支援している団体、外国人支援団体、母子生活支援施設、児童養護施設などを通じて必要とする人々に届ける活動をフードバンク活動と呼びます。セカンドハーベスト名古屋は東海4県でこのフードバンク活動を行っているNPO法人です。



ボランティア紹介

ボランティアの竹田さんに手記を書いていただきました。

セカンドハーベスト名古屋は色々な経験を積んでリタイヤした人が多くボランティアとして参加して居り、様々な個性を出してますが、皆困っている人を助けるために少しでも役立ちたいと云う優しい気持ちの者ばかりです。リタイヤした人の中には、4月の2HNの事務所移転に伴い電気配線工事、コンピュータシステムの構築、運搬用台車の安全確保など、培った技術・技能を活かし2HNの基盤整備に活躍されました。

以前にラジオで2HNが食品の提供を呼びかけていることを車の中で聞いたが、当時はそんな奇麗な人は少なく集まらないと思っていました。ボランティア活動を開始すると企業・個人から続々と提供されて来るのには驚かせられました。

年々日本の食糧自給率が低下して来ているにも拘わらず食品ロスが改善しているのか、いないのか良くわかりません。いずれにしても無駄に廃棄してしまう食品を困っている人に提供し、元気・やる気・生きる喜びを与える重要な活動だと思いました。ボランティアの仕事には、一つは拠点事務所内の食品の受け取り、保管、受取り団体に渡す食品準備、並びに食品のトレースできるコンピュータへの入力などの在庫管理があります。もう一つは、定期的に食品を提供していただける企業へ引取に行く仕事で、私は主にこの仕事を行っています。1人で行く場合でも初回は先輩ボランティアがついて道順を教えてくれます。

ボランティアの日程は、各自の翌月の予定を基に調整した日程表が明示されます。また、月に一度、ボランティアミーティングが開かれ、活動成果、新しいことへの取り組み、行事予定、並びに活動中に出た大小様々な問題や意見を



自由に出し合い、楽しく活動ができる体制をつくっています。

野菜は月・火・木のお昼前に、名古屋市の北にあ



竹田さんは見た目と違い力持ち、頼りになる助っ人です。

る企業へ軽バンで引取りに行きます。ただ、引取った野菜はその日の内に福祉団体などに渡すため、単一野菜が大量に出た場合、消化能力分だけをいただき余りはそのまま残してきます。後で傷みの酷い野菜などと一緒に焼却処分されます。終戦時の食糧不足時代を生きてきた者から見ると本当に「もったいない」、2HNのスローガンそのままです。2HNに財政的余裕あれば、もっと「おすそわけ」できるかもしれないが、生産者に済まないことだと思います。

13時過ぎに2HNの事務所に運び込み直ちに、各団体への仕分け作業をボランティア総出で行います。引取り団体は色々で特に木曜は外国人団体が多く、あるアフリカ女性は厳しい環境にあるにも拘わらず明るく振舞って手伝ってくれます。引取り手の積み込みのお手伝いをしたら14時過ぎに本日の活動は終了します。

引取り団体には、一方的に渡しているのではないか、満足度はどうなのか、食べている人が喜んでいるのか、また、捨てられたものがどの程度あるのか、実態を把握するアンケートも行っていますが、時に実際に団体へ赴きお話を伺います。私が訪問したダウン症の通所施設へは、バナナと冷蔵食品が定期提供されます。施設担当者は捨てるものは全くなく昼食のおかずには使っていますと云います。スーパーの売り場にあるものと同等のバナナが提供されるのが不思議でなりません。クリスマス会などの行事にパン・菓子類・飲み物を提供いただけだと大変有りがたいとも云われました。また利用者に聞いたら大きな声で「美味しい」、パンはと聞いたら「欲しい」との元気な答えが返っていました。現地の生の声を聞いて2HNの活動が利用者のやる気を引き立てることに繋がり嬉しく思いました。

ボランティア活動アンケートより



★活動のおもしろさ

- ボランティアとして活動に来る方は日本人だけでなく、外国の方もいらっしゃり、多くの出会いがあることが楽しい。
- ボランティアで来られている方々の年齢層は幅広いが、同じ目的意識のもと活動しているので上下関係なく活動ができること。

★活動の大変なところ

- ボランティアは定年退職した高齢者が中心で、運搬を担当するドライバーの配置や組み合わせが難しいことがあります。
- 加えて提供していただく食料品には重量物もあり、運搬や倉庫の整理が大変になります。



ソーシャルメディアでの広報



2HNのフェイスブックページ、ブログにて普段の活動の様子を写真と一緒にご紹介しています。是非ご覧ください
フェイスブックページ(<https://www.facebook.com/2hnagoya>)
ブログ(<http://2h-nagoya.blogspot.jp/>)

認定NPO法人へのご協力とご支援のお願い

フードバンクは無償性の原則(無償で食品の提供を受け、無償で配布)のため運営費を得ることがとても困難です。そこで、当団体は認定NPO法人を目指しています。毎年少なくとも100名の方から3,000円以上の寄付を頂かなければなりません。ご寄付のご協力をよろしくお願い致します。(認定NPO法人とは、運営組織及び事業活動が適正で、公益を増進し、一定の基準を満たして所轄庁の認定を受けたNPO法人のことをいい、認定NPO法人に寄付した個人・法人が税法上優遇されるメリットがあります。)

銀行振込

口座 : 三菱東京UFJ銀行 栄町支店 普通口座 **口座番号 :** 0015287
口座名義 : 特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋

ゆうちょ銀行振込

支店名 : 二一八支店 (ニイチハチ) 普通口座 **口座番号 :** 3805775
口座名義 : 特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋



★活動を通して知った事

- 食料品を生産している会社も食品販売のルールによって発生する自社製品の食品ロスを問題視しており、大切な食糧品を捨てないで良い方法を模索していることを知りました。
- これまで全く知らなかった生活困窮者について、2HNの活動を通じて関わることで初めて知りました。
- これまで普通に生活をしてきましたが、炊出しをしている団体の活動を見学させてもらい、そのすぐ近くで困っている人が普通にいることに強い驚きを感じました。

★活動のやりがい

- いつもは2HNの事務所にて食品を渡すだけですが、食品を提供している障害者支援団体に見学に行ったときに利用者に「ありがとう」と元気に言ってもらえた時、とてもうれしく感じました。
- 現地の生の声を聴いて、2HNの活動が利用者のやる気を引き立てることにつながっており、やりがいを感じます。